

2026（令和8）年度 高砂小学校教育目標

心身共に健康で自ら考え、正しく判断し、
自主的で創造性豊かな児童を育成する

学校教育目標 （目指す子ども像）

- ・た 他を思いやる子
- ・か 体をきたえ、安全に過ごせる子
- ・す 進んで学び、深く考える子
- ・な 仲良く力を合わせ、最後までやりぬく子

学校経営方針

「子どもたちにとって魅力と価値がある学びの機会の充実」

学校運営の努力点

学校経営方針を具現化するために、次の事項を学校運営の努力点として全職員で共通理解する。これらの内容を踏まえ、全教職員が「チーム」意識をもって日々の教育活動を計画・実践し、高砂の子どもや保護者、地域の方々の信頼に答えていく。

1) 学びの大前提となる「安心して過ごせる学級づくり」を教職員の協働によって確立する。

- ① どの子どもも安心して過ごせる教室にするため、心理的安全性の高い温かな雰囲気づくりを、何よりも優先して確立するよう努める。
- ② 特別な支援を必要とする児童について、全教職員で共通理解をもって指導にあたる。
- ③ 学校教育目標を踏まえ、各発達段階にふさわしい学年目標・学級目標を設定して指導をすすめる。各担任は交換授業などをおして学年担任という意識でチームとして児童理解と指導及び保護者対応にあたる。
- ④ いじめの未然防止のための教育活動充実のため年間計画を作成し、各学年の発達段階に応じ、自分も他者も大切にできる資質を醸成する学びの機会を「特別の教科 道徳」のカリキュラムの中に位置づけていく。

2) 地域の特長を生かした「高砂の教育課程」の編成とカリキュラム・マネジメントをすすめる。

- ① 地域の特長を生かし、子どもにとって魅力ある本校ならではの教育活動を充実させるため、カリキュラム・マネジメントをすすめる。
- ② 総合的な学習の時間では、子どもたちの生きる力を育むため、子どもたち

の思いや願いを大切にした「体験的・課題解決的な活動」へとカリキュラムを改善するとともに、異学年交流やたてわり活動を積極的にすすめる。

3) 教師としての識見や専門性を高めるため、研鑽に努め、力量と資質の向上を図る。

- ① 校内研究や校内研修を活性化させ、同僚性を高め、指導力向上に努める。藤小研をはじめとした各種研修会への参加を通し、教師としての専門性と人権感覚を高め、資質の向上に努める。
- ② 学習指導要領の内容を理解し、その確実な履修に努めることはもとより、今日的な教育的課題を日々の教育活動と関連させて扱うよう努める。
- ③ 教育公務員としての自覚と責任を持ち、常に信頼を得られる言動に努める。子どもを守るために、違和感がある場合は経験年数に関わらず率直に伝え合い改善していける、成熟した同僚性を構築する。

4) 児童の健康の維持・増進、食育や安全指導の充実と危機管理体制の強化に努める。

- ① 自他の生命の尊重、健康の維持・増進については、食育も含め、児童の発達段階に応じて適切な指導を、学年で共通理解して行う。
- ② 校舎内外の環境整備に努め、安全で機能的な環境づくりを図るとともに、感染症対策やけがの防止に努め、常に健康や安全に留意した教育活動を計画・実施する。
- ③ 学校防災安全計画に定められた内容と役割を理解し、有事の場合の動きを常に意識して行動し、子どもを守る。大規模災害時には勤務時間の内外に関わらず、市教委の指針に定められた役割を果たすべく協働する。

5) 地域に開かれた学校づくりに努める。

- ① 教育活動についての情報を発信し、保護者や地域の理解や協力を得るとともに、保護者や地域の教育力（地域の幼・保・小・中・高・大学、企業、地域協力者等）と積極的に連携し、より豊かな活動を計画・実施する。
- ② 地域行事などへの参加や協力を通して、地域との連携と信頼を深める。
- ③ 学校運営協議会での議論を深め、子どもたちの豊かな教育活動に生かす。

6) 個を大切に、互いのよさを認め合う指導・支援・環境の充実に努める。

- ① 一人一人の教育的ニーズや多様性に応じた指導や支援の充実に努める。
- ② 外部関連機関との連携や協力を生かしながら、指導や支援を工夫する。
- ③ 望ましい行動や優れた作品等、それぞれの個性や特長を認め合える環境づくりを進める。